

米沢興譲館高校SSH通信

令和6年度 東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会

1月24日(金)～1月25日(土)東北大学工学部を会場に行われた東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会に参加しました。東北地区6県のSSH指定校など、理数系の課題発表に積極的に取り組んでいる高校生が、授業や部活動で取り組んできた研究成果を対面で発表し、発表者との対話を通じて相互交流・評価を行います。研究と社会とのつながり、社会課題解決の一助となる研究の在り方を学ぶ機会になりました。

東北地区サイエンスコミュニティ研究発表会、ワークショップに参加して

2年 男子

1月24日、東北地区サイエンスコミュニティ研究発表会に参加し、「軽量気泡コンクリートの簡易的な新作成方法の模索」について発表しました。本研究では、クエン酸と重曹の中和反応を利用し、より簡単で実用的な作成方法を検討しました。発表会では、他校の独創的な研究発表を聞くことができ、大変勉強になりました。

翌日のワークショップでは、「生体信号の活用例」をテーマに議論し、班ごとにアイデアを出し合いながらプロトタイプを作成しました。私たちの班は、「別居している祖父母の孤独死を防ぐ」ことを目的として取り組みました。他の班の発想にも刺激を受け、幅広い視点を獲得することができました。最後に各班がプロトタイプを発表し、意見交換を行いました。

この経験を通じて、初対面の人と円滑にコミュニケーションをとる方法や、意見を交わしながら一つのものを作り上げる過程を学びました。今後この学びを活かしていきたいです。



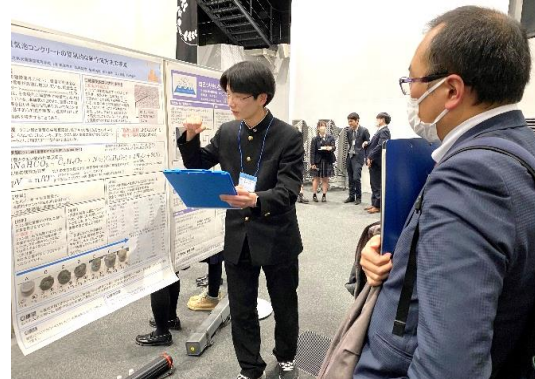
研究発表会に参加して学んだこと

2年 女子

私たちは1月24日、25日(土)に東北大学で行われた東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会に参加してきました。

初日のポスターセッションでは、慣れない場所ではありましたが、適度な緊張感をもちながら発表を成功させることができました。その後の質疑応答に対してもこれまでの実験をふまえながら臨機応変に対応することができました。二日目はワークショップを行い、製品を考案する際に大切にすべきことを教えていただきました。その内容は、どのような困り事を解決できるのか、誰がどのくらいそれを求めているのか、どうしてそれを求めているのかを価値創造するというものでした。私たちの研究では、どのような困り事を解決できるのかということにしか視点をあてることができていなかったため、新たな視点から自分たちの研究を考えることができるようになりました。

多くのことを学べた貴重な経験となりました。



【2学年 SSR (スーパーサイエンスリサーチ) 活動の様子】



子ども食堂の企画運営



「紅花フェアin小野川温泉」紅花染め体験・ペーパーフラワー体験コーナーの実施

